



## さかわようちえんだより〜秋号〜

さ:最後までがんばる子 か:感じる心をもった子  
わ:わくわくしながらチャレンジする子

令和3年9月3日  
小田原市立酒匂幼稚園  
園長 向笠 弘子

緊急事態宣言が発出される中での第2学期のスタートになりました。酒匂幼稚園では、今年度『健やかな心と体の子』『考えたことを実行する子』『助け合う子』を目指す子ども像としています。緊急事態宣言が発出され、いろいろな制限がある生活の中で、『これもダメ。あれもできない。』と思うのか、『こうすればできる!』と命を優先して今できることを考えて実行するのは、一人一人選ぶことができます。子どもも、大人も、命を守りながら心と体が元気な生活になるように考え、互いを思いやりながら、それを実行することを心掛けていきたいですね。キーワードは『想像』と『創造』です。自分の行動がどのように他のことに繋がっていくのか想像して行動し、やりたいことを制限の中でどうすればできるか考え、新しいやり方を創造していくことが大切だと思います。第2学期、子どもたちとも、コロナ禍の中『こうすればできる!』を考えて園生活を創り上げていきたいと考えています。ご理解ご協力よろしくお願いいたします。

### 2学期を迎えた子どもたちへのお願い

9月1日始業式で、さくら組とほし組の子どもたちにお願いをしました。さくら組には、『やりたいと思ったことにチャレンジしてください』ほし組には、『やりたいと思ったことに、友達と力を合わせてチャレンジしてください』年少のさくら組には、初めてのことや慣れないことにも勇気をもって取組んでほしいと思います。年長のほし組には、一人では諦めてしまいそうなことも、友達と力を合わせて試行錯誤しながら乗り越える経験をしてほしいと思います。『最後までがんばる子』『感じる心をもった子』『わくわくしながらチャレンジする子』さかわっ子なら、きっと私たちのねがい以上の姿を見せ、2学期の終わりに成長し頼もしくなっていることでしょう。子どもたちの創り出す生活を、子どもの力を信じて温かく見守ってきたいと思います。

### 行事について

幼稚園教育の基準となるものとして「幼稚園教育要領」があります。その中に、「行事の指導にあたっては、幼稚園生活の自然の流れの中で生活に変化や潤いを与え、幼児が主体的に楽しく活動できるようにすること。なお、それぞれの行事についてはその教育的価値を十分検討し、適切なものを精選し、幼児の負担にならないようにすること。」となっています。「生活に変化や潤いを与える」ということは、行事のために生活をするのではなく、生活のための行事ということが大切です。コロナ禍で、とかくどのように行うのかということに視点を向けがちですが、行事は子どもの育ちを促す生活のためという基本に戻り、『子どもたちの日常の園生活を大切にすること』『その自然な流れの中で、生活に変化や潤いを与えるものになること』『子どもが楽しく主体的に活動できること』この3点を大切にして、行事を精選し行っていきたくて考えています。日常の生活の延長線上ということで、今年度は運動会を『わくわくデイ』とし、子どもたちと共に創り上げていきます。温かく見守っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

### 夏祭りパーティ

コロナ禍で登園日が中止になり、できなかった夏祭りパーティを始業式の日に行いました。ほし組とさくら組でペアになり、手をつなぐことができなくても、しっかりとお互いを見ながらお店を回り楽しむ子どもたちの姿に成長を感じました。2学期の子どもたちの活躍に対する期待が膨らむひと時でした。

わたがし  
こうやって  
つくるんだ



**さくら組9月の約束**  
決まり約束を守ります

**ほし組9月の約束**  
早寝早起きをします



## さかわようちえんだより〜秋号〜

さ:最後までがんばる子 か:感じる心をもった子  
わ:わくわくしながらチャレンジする子

令和3年9月3日  
小田原市立酒匂幼稚園  
園長 向笠 弘子

緊急事態宣言が発出される中での第2学期のスタートになりました。酒匂幼稚園では、今年度『健やかな心と体の子』『考えたことを実行する子』『助け合う子』を目指す子ども像としています。緊急事態宣言が発出され、いろいろな制限がある生活の中で、『これもダメ。あれもできない。』と思うのか、『こうすればできる!』と命を優先して今できることを考えて実行するのは、一人一人選ぶことができます。子どもも、大人も、命を守りながら心と体が元気な生活になるように考え、互いを思いやりながら、それを実行することを心掛けていきたいですね。キーワードは『想像』と『創造』です。自分の行動がどのように他のことに繋がっていくのか想像して行動し、やりたいことを制限の中でどうすればできるか考え、新しいやり方を創造していくことが大切だと思います。第2学期、子どもたちとも、コロナ禍の中『こうすればできる!』を考えて園生活を創り上げていきたいと考えています。ご理解ご協力よろしくお願いいたします。

### 2学期を迎えた子どもたちへのお願い

9月1日始業式で、さくら組とほし組の子どもたちにお願いをしました。さくら組には、『やりたいと思ったことにチャレンジしてください』ほし組には、『やりたいと思ったことに、友達と力を合わせてチャレンジしてください』年少のさくら組には、初めてのことや慣れないことにも勇気をもって取組んでほしいと思います。年長のほし組には、一人では諦めてしまいそうなことも、友達と力を合わせて試行錯誤しながら乗り越える経験をしてほしいと思います。『最後までがんばる子』『感じる心をもった子』『わくわくしながらチャレンジする子』さかわっ子なら、きっと私たちのねがい以上の姿を見せ、2学期の終わりに成長し頼もしくなっていることでしょう。子どもたちの創り出す生活を、子どもの力を信じて温かく見守っていききたいと思います。

### 行事について

幼稚園教育の基準となるものとして「幼稚園教育要領」があります。その中に、「行事の指導にあたっては、幼稚園生活の自然の流れの中で生活に変化や潤いを与え、幼児が主体的に楽しく活動できるようにすること。なお、それぞれの行事についてはその教育的価値を十分検討し、適切なものを精選し、幼児の負担にならないようにすること。」となっています。「生活に変化や潤いを与える」ということは、行事のために生活をするのではなく、生活のための行事ということが大切です。コロナ禍で、とかくどのように行うのかということに視点を向けがちですが、行事は子どもの育ちを促す生活のためという基本に戻り、『子どもたちの日常の園生活を大切にすること』『その自然な流れの中で、生活に変化や潤いを与えるものになること』『子どもが楽しく主体的に活動できること』この3点を大切にして、行事を精選し行っていきたいと考えています。日常の生活の延長線上ということで、今年度は運動会を『わくわくデイ』とし、子どもたちと共に創り上げていきます。温かく見守っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

### 夏祭りパーティ

コロナ禍で登園日が中止になり、できなかった夏祭りパーティを始業式の日に行いました。ほし組とさくら組でペアになり、手をつなぐことができなくても、しっかりとお互いを見ながらお店を回り楽しむ子どもたちの姿に成長を感じました。2学期の子どもたちの活躍に対する期待が膨らむひと時でした。

わたがし  
こうやって  
つくるんだ



**さくら組9月の約束**  
決まり約束を守ります

**ほし組9月の約束**  
早寝早起きをします